

消防庁舎につきましては、築35年が経過し、老朽化が顕著なため、防災拠点でもある庁舎の長寿命化に向けて取り組んでまいります。

防災対策については、風水害等の大規模災害に備え、本町の常備消防力の充実強化をはじめ、地域防災力の中核となる消防団や自主防災組織等の更なる充実強化を図り町民等が安全・安心に生活ができるよう、災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。

防災体制については、様々な規模の災害に対して迅速・適切に対応できるよう関係機関との連携及び体制の強化に努めてまいります。

災害に強いまちづくりを推進するため、地域防災計画に基づき食料や飲料水等の備蓄を進めるとともに、防災ハザードマップの活用推進、防災無線や地上デジタル放送及びエフエムラジオを積極的に活用した確かな情報を実に伝達し、災害時における町民や観光客の安全確保に努めてまいります。



令和5年度に更新した救助工作車

上下水道事業の推進

上下水道事業については、安全・安心な生活水の安定供給を維持するため、水源施設及び浄水場等施設の適正管理に努めます。また、浄水場等老朽化した施設や設備につきましては、仲里地区におきまして令和11年度までに計画的な更新を図ってまいります。

下水道事業については、本年度より地方公営企業法に基づき公営企業会計とすることから、特別会計からの円滑な移行に努めてまいります。

下水道布設工事については、銭田地区が終了予定となっており、供用開始に向け整備を推進するとともに、下水道への接続については、広報誌、町公式L I

NE、エフエムラジオなどの媒体を通じて下水道接続率の向上に向けた普及啓発活動を引き続き取り組んでまいります。

環境保全と地域美化

マツ材線虫病による被害については、これまで伐倒作業や薬剤の樹幹注入の対策を講じてまいりましたが、被害の拡大を食い止めるには困難な状況にあります。今後は、枯れ松による災害事故を防ぐ為の対策を強化するとともに、引き続き、守るべき松の防除対策に努めてまいります。

猫に関する問題については、地域やボランティアの積極的な協力により、避妊・去勢手術を集中的に実施したところ、効果があったと考えており、引き続き適正飼育の啓発活動や問題解決に向けて取り組んでまいります。

ゴミのない島づくりのためには町民の意識改革が最も重要です。正しいゴミの分別を推進してゴミの減量化を図るとともに、快適な

生活環境づくりに努めてまいります。

漂着ゴミについては、町民やボランティアと連携し、ゴミの回収や処理に取り組み、さらなる環境保全活動を推進してまいります。

新たなごみ処理施設については、順調に整備工事が進んでおり、令和8年度の供用開始に向けて取り組んでまいります。

以上、令和6年度の主な施策を申し述べました。

本町の財政状況につきましては、町税が減少傾向にあり、福祉や医療等の義務的経費が増加し、老朽化した公共施設等の整備にかかる投資的経費の伸びも予測されるため、依然と厳しい見通しとなっております。

このような状況下であっても、複雑化・高度化する地域課題や時代の潮流に対応するための取り組みを、躊躇することなく、しっかりと実行していくことは、本町の限らない発展と町民生活の向上を託された私の務めであります。

一歩ずつ着実に前進させるとともに、福祉・教育を

はじめ町民に密着した行政サービスをさらに展開していくためにも、最小の経費で最大の効果を挙げることを基本に、業務ならびに組織のあり方を変革していくという強い意志を持って取り組んでまいります。

結びに

私は令和4年5月に町長に就任して以来、町民目線・町民ファーストを基本姿勢としながら、子どもたちが元気で明るく・若者が夢と希望もてる・お年寄りが安心してくらせるまちづくり、そしてすべての世代が住みやすいまちづくりの実現を公約に掲げ、その達成に向けて様々な分野での取り組みを進めてまいりました。

引き続き掲げた公約の実現を目指しつつ、町民の皆様がより豊かな生活が送れるよう町政運営に邁進してまいりますので、町民の皆様並びに町議会議員各位のご理解ご協力をお願い申し上げます。

令和6年3月5日
久米島町長 桃原秀雄